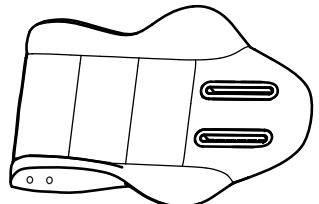

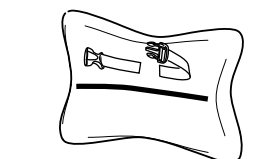
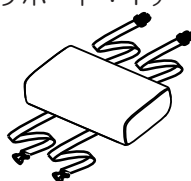
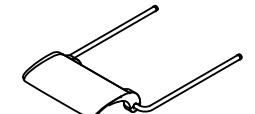
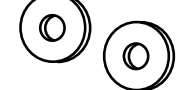




wisteria フリーダムチェア

組立説明書

部材・部品一覧表

●組立前に部材・部品をご確認ください。

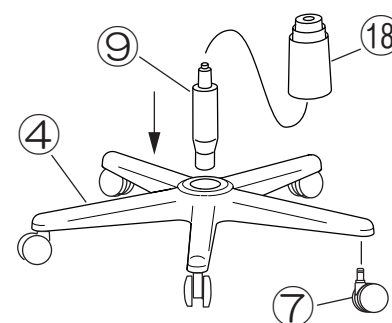
① 背：1ヶ 	② 座（肘付）：1ヶ 	③ 座受け金具：1ヶ 	④ 5本脚：1ヶ 	
⑤ ヘッドレスト：1ヶ 	⑥ ランバーサポート：1ヶ 	⑦ キャスター：5ヶ 	⑧ カバー-L/R 各1ヶ 	⑨ ガススプリング：1ヶ 
⑩ フットレストフレーム：1ヶ 	⑪ フットレストクッション：1ヶ 	⑫ 固定ボルトA M8×25：4本  ※予備1本あり	⑬ 固定ボルトB M8×20：4本  ※予備1本あり	⑭ 固定ボルトC M5×10：2本  ※予備1本あり
⑮ キャップ：2ヶ 	⑯ ワッシャー：2ヶ  ※予備2個あり	⑰ 六角レンチ：1ヶ 	⑱ ガススプリングカバー：1ヶ 	⑲ 固定ボルトD M6×12：2本  ※予備2本あり

組立方法

- 組立の際は万が一に備え、軍手を着用していただくようお願いいたします。
- 組立の際に背・座に汚れ・傷などが付かないように保護してください。
- 組立は1人でも行えますが、2人以上での組立の方がより安全です。

手順1 脚にキャスターとガススプリングとガススプリングカバーを組み付ける

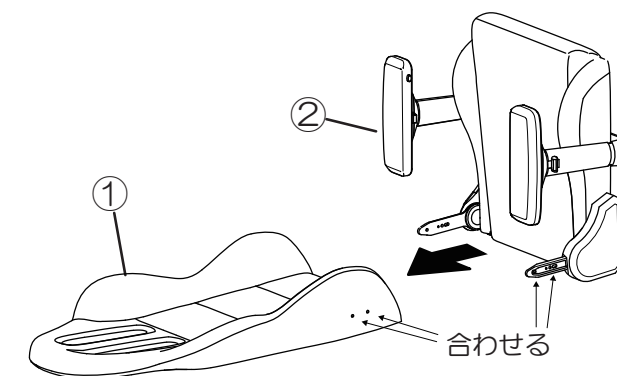
- ④5本脚の先端に⑦キャスターをしっかりと差し込んでください。
- ④5本脚を平らな場所に置き、⑨ガススプリングを④5本脚の中央にある孔にしっかりと差し込み、さらに⑱ガススプリングカバーを差し込んでください。



※組み付ける前に⑱ガススプリングカバーが梱包箱に残っていないかご確認ください。

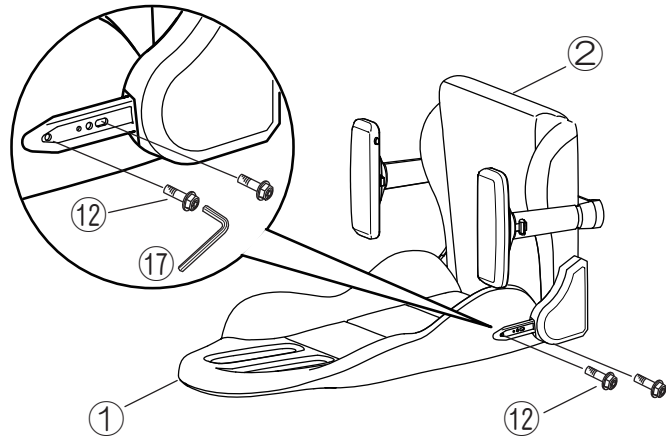
手順2 背と座を組み付ける

- 平らな場所に①背を表面を上にして置きます。
②座の後部の金具が下側になるように②座を立て、①背の側面にある穴と②座の後部の金具の穴位置を合わせます。



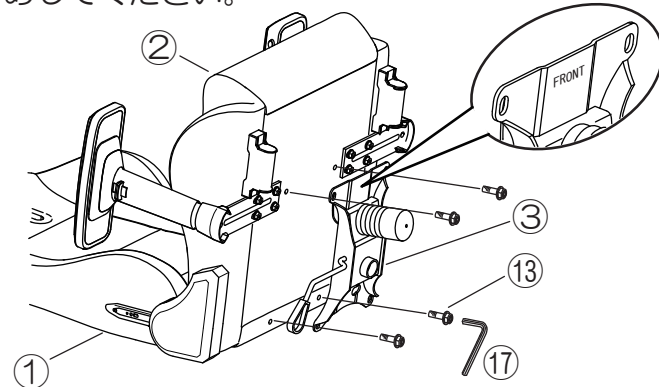
手順 3 背と座を固定する

手順2 で合わせた穴に⑫固定ボルトAを差し込み、⑮六角レンチを使って、2箇所仮締めしてください。反対側も2箇所仮締めした後、4箇所全て本締めしてください。



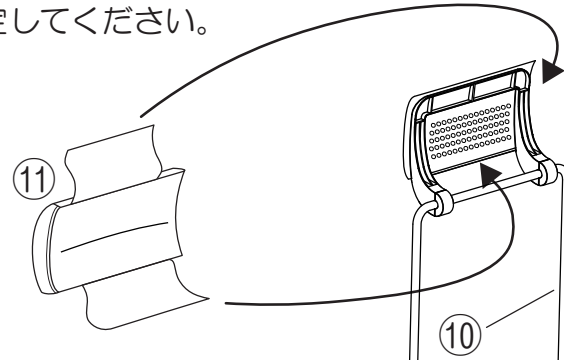
手順 4 座受け金具を固定する

③座受け金具に表示してある「FRONT」を座前側にして、②肘つき座の裏にある穴位置と③座受け金具の穴位置を合わせてください。合わせた穴に⑬固定ボルトBを差し込み、⑮六角レンチを使って、4箇所仮締めした後、本締めしてください。



手順 5 フットレストクッションを取り付ける

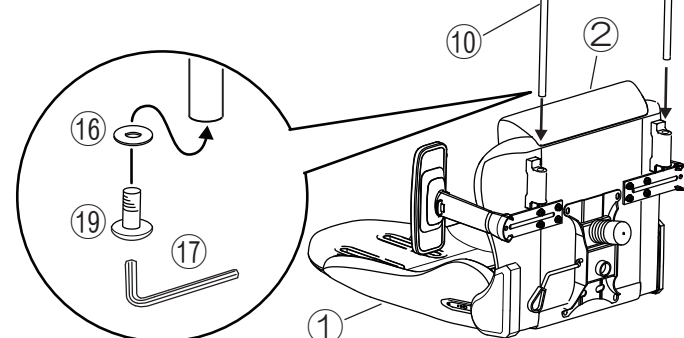
⑩フットレストフレームの樹脂部に、⑪フットレストクッションを巻き付け、マジックテープで固定してください。



※ご使用中のフットレストクッションのゆるみ防止のため、フットレストクッションの取り付け部分は短めになっております。強めに引っ張り取り付けしてください。

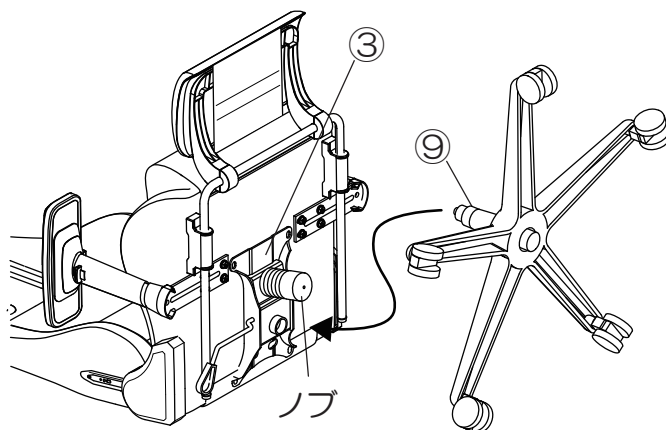
手順 6 フットレストを組み付ける

②肘つき座の座前にある樹脂部の穴に⑩フットレストフレームを差し込んでください。差し込んだ後、⑩フットレストフレームの後部のナット穴に⑯ワッシャーと⑲固定ボルトDを、⑮六角レンチを使って仮締めした後、本締めしてください。



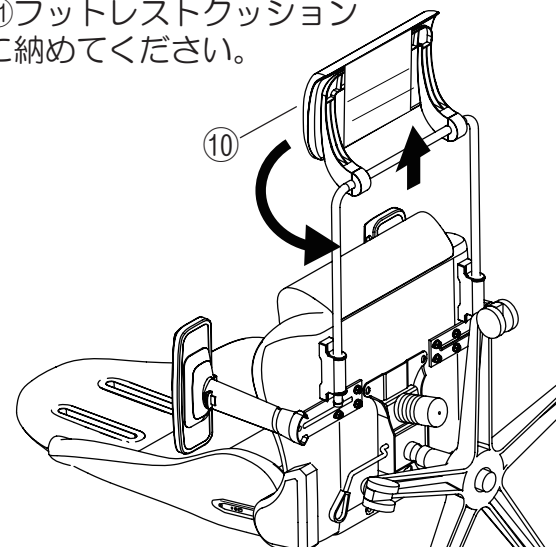
手順 7 脚を組み付ける

手順4 で組み付けた③座受け金具のノブを持ち上げながら、**手順1** で組み付けた⑨ガスプリングの先端を③座受け金具の穴にしっかりと差し込んでください。



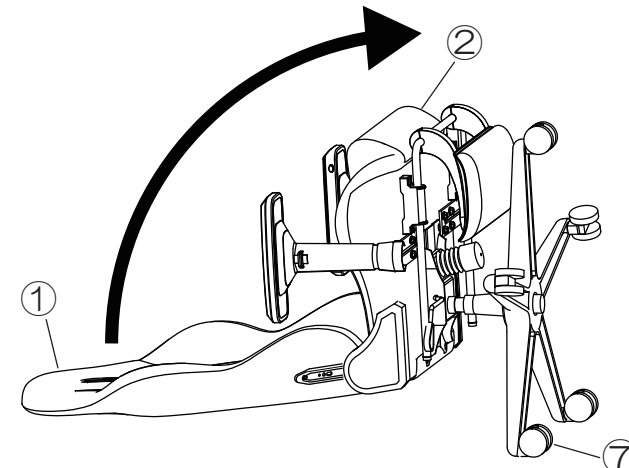
手順 8 フットレストを収納する

⑩フットレストを引き出し、足掛け部を回転させ、⑪フットレストクッションを座裏に納めてください。



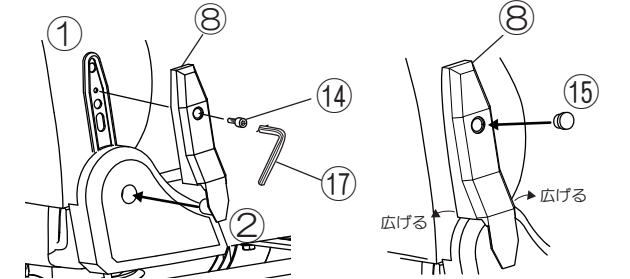
手順 9 イスを起こす

①背の側部と②肘つき座の座前部を持って、⑦キャスターを回転軸にして、イスを起こしてください。



手順10 カバーRを組み付ける

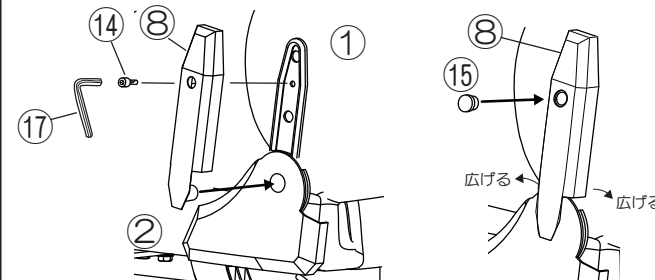
②肘つき座の後部右側面にある樹脂の穴に、⑧カバーRの突起部をパチッと音が鳴るまで差し込んでください。その後に①背の側部に組み付けた金具の穴と⑧カバーの穴位置を合わせ、⑮六角レンチを使って、⑭固定ボルトCを本締めしてください。本締め後、その穴に⑮キャップを差し込んで蓋をしてください。



※カバーの幅が金具より狭くなっていることがあります。その場合、カバーの幅を広げて組付けしてください。

手順11 カバーLを組み付ける

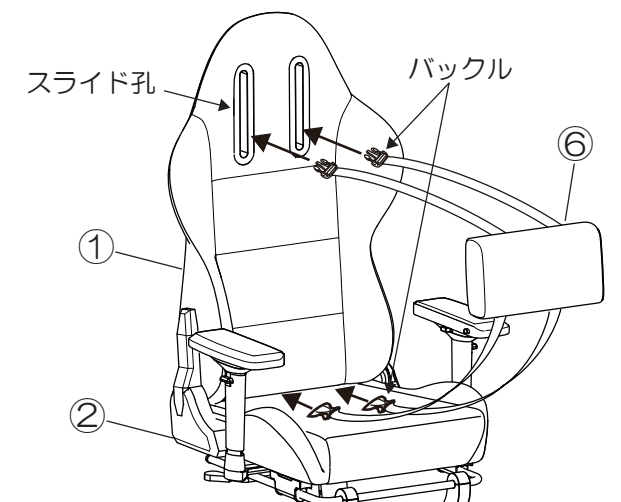
②肘つき座の後部右側面にある樹脂の穴に、⑧カバーLの突起部をパチッと音が鳴るまで差し込んでください。その後に①背の側部に組み付けた金具の穴と⑧カバーの穴位置を合わせ、⑮六角レンチを使って、⑭固定ボルトCを本締めしてください。本締め後、その穴に⑮キャップを差し込んで蓋をしてください。



※カバーの幅が金具より狭くなっていることがあります。その場合、カバーの幅を広げて組付けしてください。

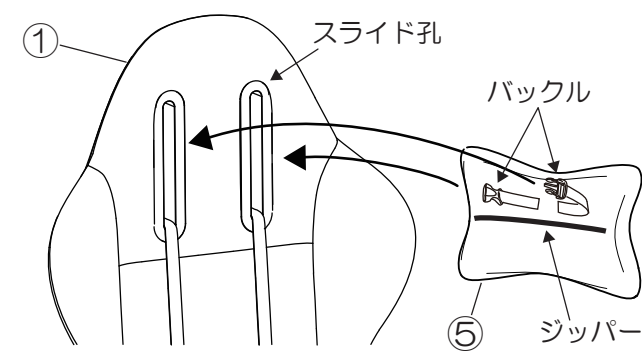
手順12 ランバーサポートを組み付ける

⑥ランバーサポートのバックルを①背のスライド孔と①背と②肘つき座の間に差し込み、①背の背面でバックルを連結してください。



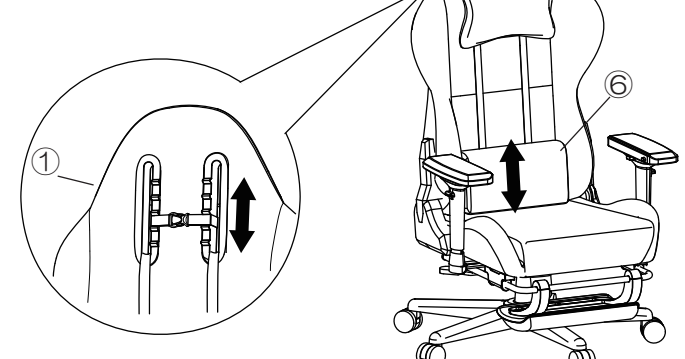
手順13 ヘッドレストを組み付ける

⑤ヘッドレストのバックルを①背のスライド孔に差し込み、①背の背面でバックルを連結してください。
※ヘッドレストを高い位置でセットできるようにする場合、バックルがジッパーより下側になるようにヘッドレストを組み付けてください。



手順14 ヘッドレストとランバーサポートの調整

⑤ヘッドレストは①背のスライド孔後部にある溝に⑤ヘッドレストのゴムベルトを引っ掛けて、お好みの位置にしてください。
⑥ランバーサポートは上下に動かして、お好みの位置にしてください。調整が完了したら、完成です。



wisteria フリーダムチェア

取扱説明書

この度は当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、未永くご愛用いただきますよう、お願いいたします。お読みになったあとは大切に保管してください。

警告

- 滑りやすい床面で使用しないでください。転倒してけがをすることがあります。
- ガススプリングは分解、注油しないでください。爆発してけがをすることがあります。
- ガススプリングは火に入れないでください。爆発してけがをすることがあります。
- 廃棄するときは専門業者にお任せするか、購入店へご相談ください。焼却すると有毒ガスが発生することがあります。

注意

- 本来の用途以外では使わないでください。けがをすることがあります。
- 傾斜角度の大きい場所では使用しないでください。本体が壊れてけがをすることがあります。
- 火のそばに近づけて使用しないでください。火災になることがあります。
- 直射日光、熱の当たる場所、暖房器具の近くでは使わないでください。また、湿気、乾燥の著しい所も避けてください。変色や変形することがあります。
- この製品は屋内用です。屋外、水のかかる場所、水中では使用しないでください。故障やサビの原因になります。
- 可動部のすきまに手や指を入れないでください。はさんでけがをすることがあります。
- 周囲に注意して回転させてください。本体が壊れてけがをすることがあります。
- 座面の上に立ち上がらないでください。転倒してけがをすることがあります。
- 背や肘に座らないでください。転倒してけがをすることがあります。
- フットレストに座ったり、立ち上がらないでください。転倒してけがをすることがあります。
- 座面の先端や逆向きに座らないでください。転倒してけがをすることがあります。
- 必ず一人で座ってください。二人以上で座ると、転倒したり壊れてけがをすることがあります。
- 張り地やクッションが壊れたまま座らないでください。けがをすることがあります。
- 幼児を一人で座らせないでください。転倒してけがをすることがあります。
- 座面に物を乗せて台車代わりに使用しないでください。転倒してけがをすることがあります。
- ボルトが緩んだまま使用しないでください。本体が壊れてけがをすることがあります。
- 異常を発見したまま使用しないでください。本体が壊れてけがをすることがあります。
- 分解や改造をしないでください。破損してけがをすることがあります。

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをしますと、死亡または重傷を負う可能性があります。

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをしますと、傷害または物的傷害が発生する可能性があります。

製品仕様 (品質表示) MADE IN CHINA

品名	寸法 (単位: mm)				質量 (kg)
	総幅	総奥行	総高さ	座高さ	
フリーダムチェア	690	685	1150~1210	415~475	19

構造部材	
背部	布張り (ポリエステル)、ウレタンフォーム、スチールパイプ
座部	布張り (ポリエステル)、モールドウレタン、合板、PP樹脂成型品、鋼管溶接構造体 (座受け部)
肘部	PP樹脂成型品、PU樹脂成型品、スチールパイプ
脚部	PA強化樹脂成型品、ガススプリング、φ60mmウレタン双輪キャスター

お手入れ方法

- **張地の場合**
通常は毛足の柔らかいブラシで表面を軽く叩くか、掃除機で縫い目や隙間に入ったホコリを吸い取ってください。汚れた場合には、薄めた中性洗剤を柔らかい布に少量取り、軽く叩くようにして拭き取ってください。その後は、少量の水で濡らしたタオルで洗剤分を取り除いてください。
- **金属部・樹脂部の場合**
通常は柔らかい布で乾拭きしてください。汚れた場合には、薄めた中性洗剤を使用して拭き取り、その後は固く絞った布で乾いた布の順で拭き、洗剤分と水分を完全に取り除いてください。

※ シンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉類は絶対に使用しないでください。

保証期間

目的以外の使用、取扱い上の不注意、乱暴な使用による故障などを除き、1日8時間程度の通常の使用状態における本製品の保証期間
①=1年、②=2年、③=3年
①外観・表面仕上げ (塗装及び樹脂部品の変色褪色、張地の摩耗など)
②可動部 (スライド機構、昇降機能などの故障)
③主体構造体の故障 ※消耗品は対象外

TOKIO 藤沢工業株式会社 **JOIFA432**

本社: 岐阜市日野南 7-1-7
TEL (058) 247-3311
東京: 東京都中央区八丁堀 2-20-1 藤和八丁堀ビル4F
TEL (03) 3552-8824
静岡: 静岡県藤枝市前島 2丁目28番17号
TEL (054) 634-2102
大阪: 大阪市中央区安堂寺町 2-2-11 NTビル7F
TEL (06) 6761-5511
広島: 広島市西区東観音町17番18号 同仁ビル2階201号
TEL (082) 291-9725
九州: 福岡市博多区山王 1-16-26 筑紫センタービル205
TEL (092) 433-5599

注意事項

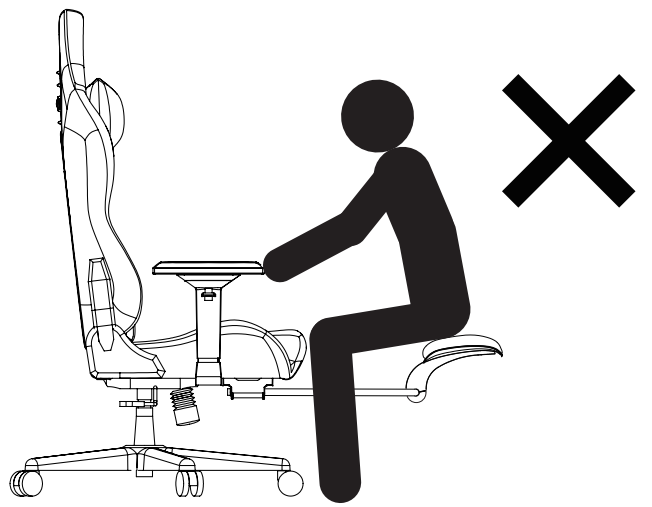
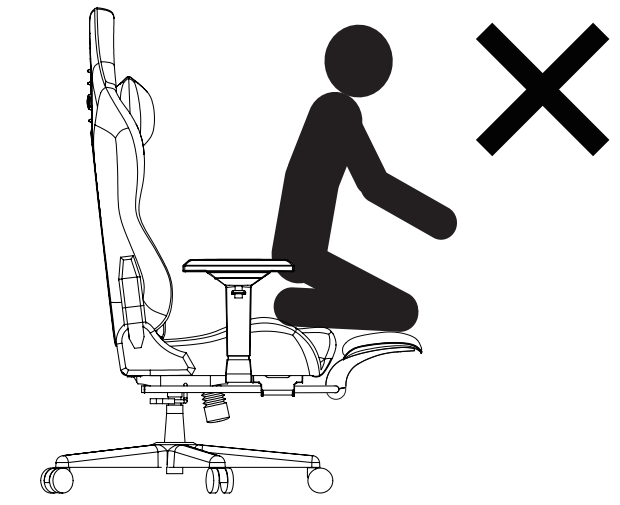
- フットレストの用途は脚置きです。座面に腰を下ろして、フットレストには脚のみを置いてください。(フットレストには全体重を支えられる程の強度はありません。)



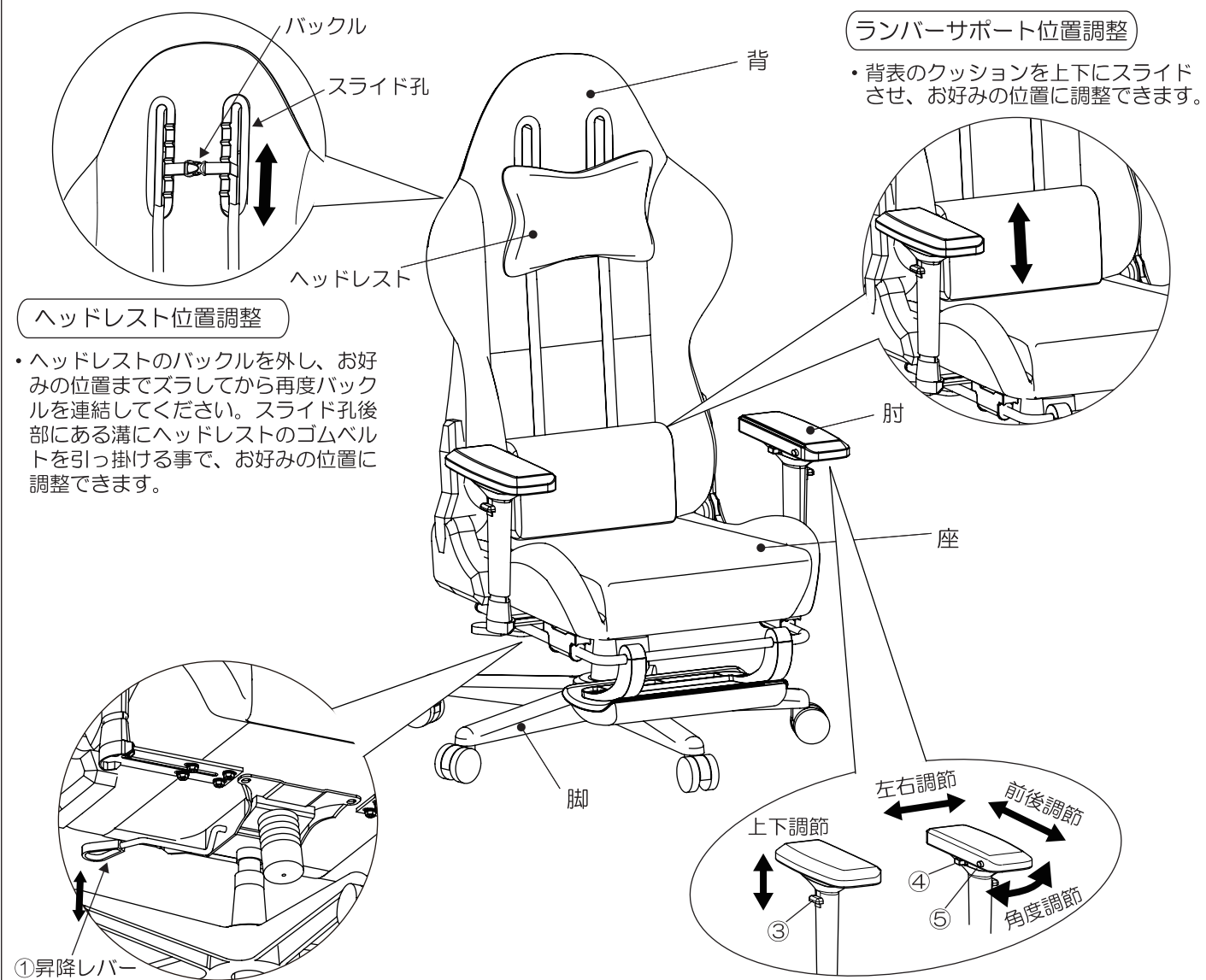
- フットレストに座らないでください。フットレストが破損し、転倒してけがをすることがあります。



- 座面・フットレストの上に立ち上がらないでください。フットレストが破損し、転倒してけがをすることがあります。



各種機能の使用法1



ヘッドレスト位置調整

•ヘッドレストのバックルを外し、お好みの位置までズラしてから再度バックルを連結してください。スライド孔後部にある溝にヘッドレストのゴムベルトを引っ掛ける事で、お好みの位置に調整できます。

ランバーサポート位置調整

•背表のクッションを上下にスライドさせ、お好みの位置に調整できます。

座上下調節

座面裏の右手側にある①昇降レバーで座の高さ調節ができます。

(座を上げるとき)

腰を浮かせて①昇降レバーを上へ引き上げ、座が希望の高さまで上がった①昇降レバーから手を離します。

(座を下げるとき)

座の中央に深く腰掛け①昇降レバーを上へ引き上げ、座が希望の高さまで下がったら①昇降レバーから手を離します。

肘の調節

肘にある③のつまみと④・⑤のボタンによって、位置や向きの調節ができます。

(上下調節)

③のつまみを持ち上げながら、肘を6段階の範囲で上下に動かし、お好みの高さ調節できたら、③のつまみを手から離してください。

(左右調節)

④のボタンを押したまま、肘を3段階の範囲で左右に動かし、お好みの位置に調節できたら④のボタンから手を離してください。

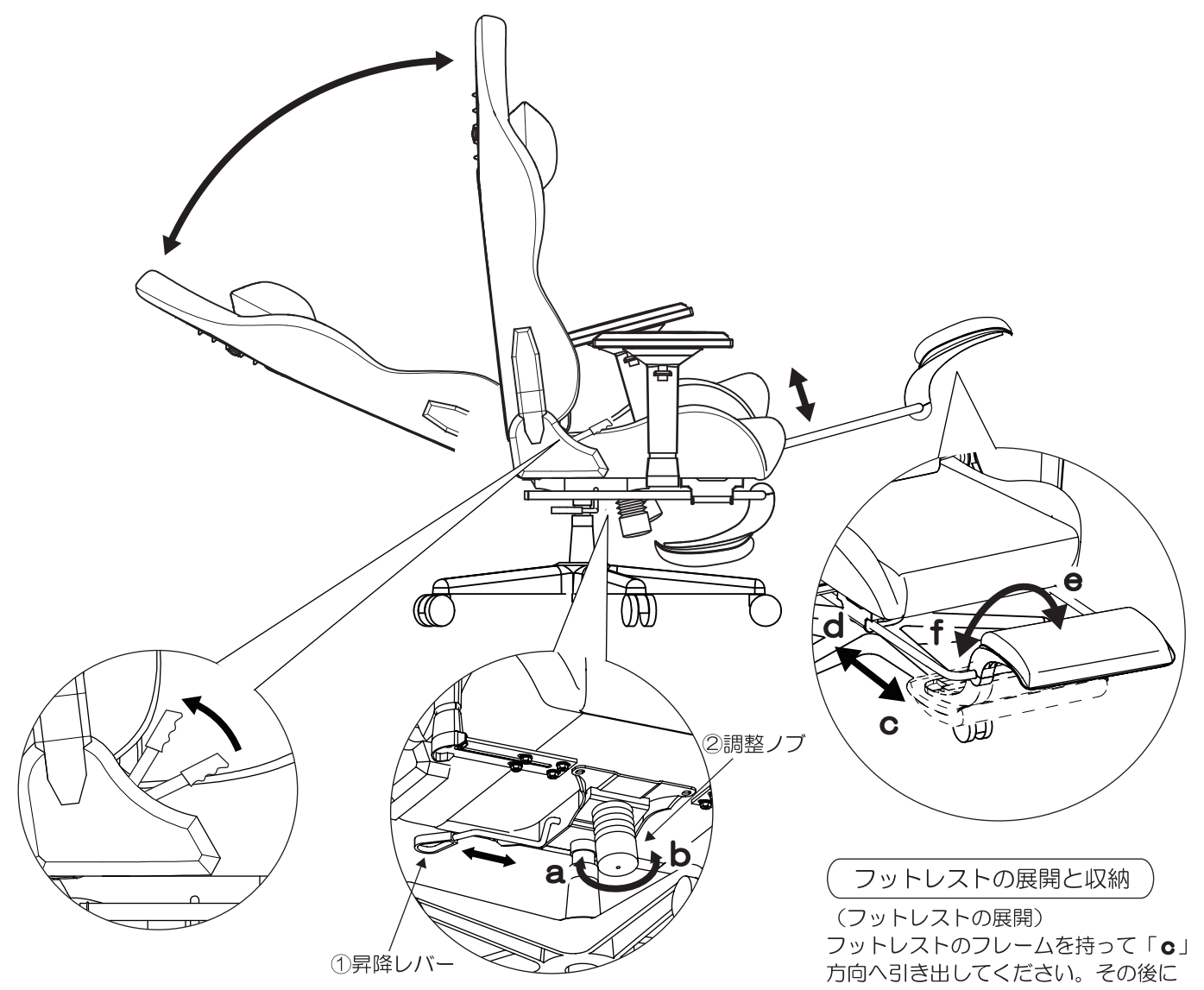
(前後調節)

⑤のボタンを押したまま、肘を5段階の範囲で前後に動かし、お好みの位置に調節できたら⑤のボタンから手を離してください。

(角度調節)

肘部を持ったまま、左右のどちらかお好みの方へひねってください。

各種機能の使用法2



背もたれ角度調節

座の右側部にあるレバーを上側に引いたまま、背に荷重をかけると倒れます。背の角度がお好みの角度になったら、レバーから手を離してください。背に荷重をかけないでレバーを上側に引くと、背が起きます。

ロックング硬さ調節

座面裏の前方にある②調整ノブを時計回り「a」方向へ回すとロックングが固くなり、反時計回り「b」方向へ回すと緩くなります。

ロックング固定

座面裏の右手側にある①昇降レバーでロックングを固定することができます。

(ロックング固定方法)

①昇降レバーを内側に差し込むとロックが出来ます。

(ロックング解除方法)

①昇降レバーを外側に引き出すとロックが解除されます。

フットレストの展開と収納

(フットレストの展開)

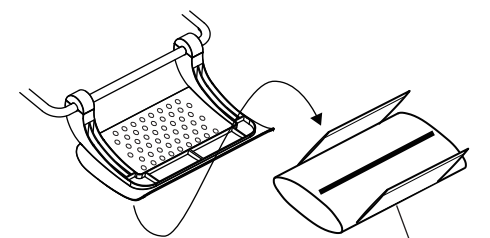
フットレストのフレームを持って「c」方向へ引き出してください。その後に「e」方向に回転してフットレストのクッションパットを上側にしてください。

(フットレストの収納)

フットレストのフレームを「c」方向に最大まで引き出し、フットレストを「f」方向に回転し、フットレストのフレームを「d」方向に押し込んでください。

フットレストパットの脱着

フットレストパットはマジックテープで固定してあります。フットレスト樹脂のみで使用する場合はマジックテープを剥がして使用してください。



フットレストパット